

<b>1. 評価対象事務事業</b>		シート作成日	平成25年7月14日
事業名	消防用施設等整備事業	担当課・係名	消防署・国府分署
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	4
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

<b>2. 事業の概要</b>					
目的 (何のために)	災害時に使用する消火栓及び防火水槽など消防水利の維持管理				
対象 (誰を・何を)	消火栓、防火水槽等				
内容	水利標識の整備及び消防水利の点検並びに維持管理				
根拠法令・条例等	消火栓補償協定				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	497	627	1,001
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	497	627	1,001
	職員人数 (概算職員数)	人			1.83
	人件費計 (b)	千円			10,746
総事業費 (a)+(b)	千円	497	626	11,747	
事業費内訳 H 25 年度	需用費：58千円                      原材料費：20千円                      負担金補助及び交付金：923千円				

<b>3. 指標値の推移</b>					
各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 公設消火栓	基	549	555	555
	② 公設防火水槽	基	75	79	79
活動指標 (活動量)	① 延べ点検人員	人	77	66	75
	② 延べ点検人員	人	77	66	75
成果指標 (達成度等)	① 延べ点検日数	日	15	11	20
	② 延べ点検日数	日	15	11	20

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 消防署で円滑に事業を遂行している。また事業の性質上、消防署が実施主体となるのは妥当と考える。
	・実施手段は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 消防活動に必要な水利として常に維持管理されている。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 消火活動時に支障なく使用できている。
	・コストに対して効率的か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率的 <input type="checkbox"/> その他 神奈川県公営企業管理者との協定で前々年度の修繕費を基に算出している。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 要修理と確認された消火栓は全て修繕するのではなく、水道局と事前協議し必要可否を判断している。
	担当課による評価		<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
			評価理由 日頃の維持管理により、災害発生時、支障なく使用できている。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	過大の修繕等を防止するため、要修理と確認された消火栓については、水道局と修繕の必要可否について事前協議を行った上で修理を行なうことにより、修繕等のコスト抑制に努めている。
② 平成26年度に着手する事項	なし。
③ その他（課題、調整事項等）	なし。

#### 6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

火災等災害時に使用する消火栓及び防火水槽など消防水利の整備及び維持管理並びに点検を実施する。
--